

序

熊本野生生物研究会 会長

高 添 清

会誌7号には、長きにわたり本会を指導されてこられた西岡鐵夫先生を偲ぶ内容が掲載されています。そして今回の会誌は新たな出発を期すものにもなりました。

昨年来、社会は激動の時代です。東日本大震災や原発事故、いつ起きてもおかしくない九州の地震など、西岡鐵夫先生が常におっしゃられていた「森羅万象を知る」ことの重大さを、改めて認識させられることが起きました。常日頃、本会は自然環境の構造・機能を解き明かそうと、動植物の調査研究を積み重ねています。私たちの得られた知見と予測を発信することは重要です。会誌は多くの会員にその場を提供するものです。そして、そのことは地域社会の福祉と教育、文化の発展に寄与することになると確信しています。今後も、広い視野と未来への展望を持ち、地道な調査研究活動を行うことによって、本会の発展と充実が益々実現されることを祈念します。

この会誌7号の発刊にあたり、ご尽力いただいた査読者や編集委員を始め、協力いただいた多くの方々に厚くお礼申し上げます。また、この会誌をご覧に頂いた方々から、本会の今後の発展のためにも忌憚のないご意見をお願いして挨拶の言葉といたします。